

受付番号： 2021-1-151

課題名：当院婦人科内分泌外来に紹介となった総排泄腔遺残症例に関する後方視的研究

1. 研究の対象

2012年4月～2021年3月に当院婦人科内分泌外来で診療を受けられた総排泄腔遺残術後の方

2. 研究期間

2021年5月（倫理委員会承認後）～2021年8月

3. 研究目的

総排泄腔遺残術後の患者様が抱える婦人科的な問題点について、改善策を検討することを目的としています。

4. 研究方法

診療録を用いて後方視的に情報を収集し、課題を検討します。

この研究により対象の方に治療上の負担が生じることはありません。

また、対象の方への謝礼等はありません。

この研究に関して利害関係のある企業や組織などはありません。

5. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、手術歴、手術以外の治療歴、手術合併症の発生状況

月経の状況、婦人科関連のライフイベント、妊娠分娩歴

6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

7. 研究組織

本学単独研究

本研究に割り当てられた研究費などの資金はありません。

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

(研究責任者) 立花 眞仁

(担当者) 平賀 裕章

東北大学病院 婦人科

〒 980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL 022-717-7251

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。(※手数料が必要です。)

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください

ださい。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合